

情報処理の概念

#10 家庭につながっていくネットとデジタル機器 (つづき)

Yutaka Yasuda

音楽配信

- 情報家電のためのアプリケーション
 - ブレイクを期待できる突破口として有望
- iTunes Music Store という成功事例
 - 成功しない、という空気を一掃
 - 音楽・映像業界との協力の可能性
- 2008年までに音楽配信は米国市場の16% (22億ドル) / Pricewaterhouse Coopers
 - 2003年日本のCD売上高の半分以上

音楽配信

- 音楽業界と P2P データ交換
- iTunes の成功は利用者と提供者のバランス取りの結果

音楽配信

- 日本の携帯音楽市場
 - iTunes と着うたがほぼ同じ市場規模
 - 音楽というものの多様な使われ方
 - デジタルデータの汎用性・互換性が推進

複製にともなう権利処理

- 権利処理の問題
 - 地上デジタル放送ではデジタル録画は一度だけ (日本民間放送連盟 2003.11.17)
 - 資料「隣接権の共同保有が足かせに...」
- 利用者不在
 - 相互接続は果たせたが、流せるデータは無い?
 - デジタル生活の設計では多くのハードルを越える必要がある
 - 全体をバランス良く見て、システムを丸ごと設計する必要がきているのではないか?

著作権保護機構

- 現状の多くのサービスにおいて著作権保護技術 (DRM, Digital Rights Management) に互換性は無い
 - どのサービスから買った音楽かによって再生できるかどうかが決まる
 - デジタルデータの優位性は汎用性ではないのか?
 - Apple は FairPlay (iTunes の DRM) を非公開にしている (iTunes 携帯を発表予定の Motorola には出している)
- RealNetworks 社の Harmony による相互乗り入れ
 - Real社の音楽配信サービスで購入した楽曲を iPod などで聞けるようにする技術を発表
 - DRM情報を変換し、互換性を活かせるようになるか?